

どんぐりの里親制度について

雑木林の管理方法として、萌芽更新、植栽更新、実生更新があります。老齢化した現在の雑木林の更新方法としては、林を区分し老木を伐採し、その後若い苗木を植栽更新していく方法が最も有効です。この植栽更新を行うためには、小平で生まれ育った苗木が必要になります。

そこで、小学生がどんぐりの実生から生まれた幼木の苗を持ち帰り、育てていただきます。小学生の手で苗木を育てることは、緑に対する愛着を持つ良い機会となり、次代へ引き継ぐ緑を保全する人材教育にもなります。

その後、育てた苗木を2年後のグリーンフェスティバルにお持ちいただき、市内の雑木林内の苗場で育て、成長した苗木を新しい雑木林の造成に役立てます。幼木から樹木を育て市民の手で新しい森林を作ろうとするプロジェクトです。

